小学校 × 特別活動

特別活動どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。



変わる所 7項目　解説PDF 1件

10秒でいうと

クラブ活動は学年（主に4年以上）の縛りや実施時期を柔軟に。児童会は学校運営に意見を

特別活動は、子供が学級や学校という身近な社会をよりよく創る活動として見直す方向です。三つの視点のうち「社会参画」は「社会創造」に整理し直す案です。学級活動は、人間関係や安心して話せる雰囲気をつくる「学級経営の要」と明確にします。クラブ活動は「好き」を追う場として柔軟にする案です。評価は「学びに向かう力」の個人内評価にする方向です。

どこが変わる？現行⇔次期（小学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜小学校 特別活動：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）

学級活動（ホームルーム活動）の項目名

現行

（1）学級や学校における生活づくりへの参画、（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全、（3）一人一人のキャリア形成と自己実現。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

（1）学校や学校における**生活の創造**、（2）**日常生活における自己の成長と健康安全**、（3）**将来に向けた自己の成長とキャリア形成**（いずれも案）。

P354 ※現行の項目名は資料編m4 P165。（2）から「適応」の語が外れる点はP351の用語整理とも関係。

学級活動（1）ア

現行

学級や学校における生活上の諸問題の解決（否定的な状況の改善に限ってとらえられがちと指摘）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

学級における生活づくりへの参画（アは学級内の課題、ウは学級を越えた学校の課題と区別。ウも学級での話合いが原則）とする案。

P354

三つの視点

現行

人間関係形成・社会参画・自己実現。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

人間関係形成を基盤に、**社会創造**・自己実現が**往還的**に高まる関係として整理（「社会参画」を「**社会創造**」に）する方向。

P352

評価の仕方

現行

知識・技能、思考・判断・表現、
主体的に学習に取り組む態度ごとに
目標に準拠した評価を行い、
各活動ごとに十分満足できる
場合に「○」。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

3つの柱に分けた目標準拠の評価は
行わず、「学びに向かう力」を
一体的に**個人内評価**。**成長が特に顕著な場合**に「○」を付記。
形成的評価・自己評価・相互評価を
重視（案）。

P361

キャリア・パスポート

現行

事務連絡（H31）にもとづく様式例
（例示資料）を参考に各学校が
作成・蓄積。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

例示資料を廃止し、見通し・
振り返りのための多様な取組へ
見直す方向。蓄積は
クラウド上などでの**個人管理**を
基本とし、学校による**引継ぎは求めない**方向。

P359 P95 ※現行の位置付けは資料編m4 P174・P175による。

児童会・生徒会活動の役割

現行

児童会・生徒会の役割として
「学校行事への協力」が
規定されている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「学校行事への協力」を見直し、
校則など生活上の課題について
子供が提案し、教師等との話合いを
通して**学校運営に関わる**など、
学校運営への**意見表明**の記載を
設けることが適当とされた。

P355

学校行事の種類（文化的行事）

現行

「文化的行事」。学習発表会は解説で
具体例として挙がっている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

学習発表会の要素を名称に加え
「**文化・学習発表的行事（仮称）**」
とする案。

P357

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの小学校の特別活動の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **特別活動編**
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編

学習指導要領の本文

PDF **小学校学習指導要領（平成29年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

特別活動の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 小学校の先生へ
資料室（小学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。